

平成20年度 「学校教育自己診断」結果報告

学校協議会事務局

はじめに

平成20年度「学校教育自己診断」の集計結果ができました。今回は、過去3ヶ年の「学校教育自己診断」グラフ集計から各質問項目の動向を分析し、本校の現状や課題を明らかにして、来年度に向けた改善・改革の方向をまとめましたので、ここに報告いたします。

回収(率)の状況

今年度、学校教育 自己診断票の回収率は、生徒全体が72%（昨年度79%、一昨年度73%）、保護者全体が29%（昨年度26%、一昨年度18%）、教職員が45%（昨年度45%、一昨年度50%）でした。学校協議会で、「保護者・教職員の回収率を上げる。」「回収率が低いと、本当の姿がみえてこないのではないか。」というご意見を頂戴しました。これを受けて、学校として実施時期の検討（例えば、保護者懇談の期間に合わせるなど）、保護者の携帯メール登録者数を合格者説明会・入学式等で保護者に呼びかけて、今以上に登録者数を増やします。保護者の皆様に対して、携帯メールを利用し、アンケート実施に関する協力を呼びかけ、アンケートの回収率を上げることを考えていきます。

生徒の集計結果より

この3年間、良い方向に進んでいる質問項目

- 2 「この学校には、他の学校にない特色がある。」
- 3 「学校は生徒の意見をよく聞いてくれる。」
- 18 「私は部活動に積極的に取り組んでいる。」

この3年間で振り返り、改善・改革が必要な質問項目

- 1 「学校へ行くのが楽しい。」
- 4 「授業はわかりやすく楽しい。」
- 7 「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。」

今後の取り組み

授業規律を生徒にしっかり身につけさせる

生徒が、安心して、しっかり学習できる環境を保つために、全校をあげて徹底的に指導します。例えば、授業中の携帯電話に関わること、化粧、私語、その他、授業態度が悪い場合は、全教職員の共通認識のもと、別室指導・懲戒指導も含めて厳しく指導します。

生徒がわかる授業の展開 と 基礎学力の定着

生徒が「分かる」授業、生徒に「やる気」をださせる授業、一人ひとりの生徒を大切に
した授業を目指します。また、生徒に「自学自習」ができる力と一般教養レベルの基礎学
力を身につけさせるため、毎日短時間の反復学習といった方法や生徒の習熟度に応じた学
力保障を検討していきます。

部活動の活性化

本校は ・ 部併設のため、7・8限目授業があり、放課後が無い状態です。従って、
部活動、補習・講習、集会、会議等の実施が困難な状況です。本校のこのような状況につ
いては、今後も大阪府教育委員会に対して「システムの改造」を要望していきます。

生徒が部活動を通して「人間力」を高められるように、学校として活動時間の確保に努
め、何よりも顧問（教職員）の指導が重要であることを教職員が認識し、熱心な指導を実
践していきます。

保護者の集計結果より

この3年間、良い方向に進んでいる質問項目

- 2 「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている。」
- 2 1 「学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。」
- 2 2 「学校は、教育情報の収集や提供の努力をしている。」
- 2 4 「学校では、PTA活動が活発である。」

この3年間を振り返り、改善・改革が必要な質問項目

- 1 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」
- 7 「学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きとしている。」
- 8 「生徒は、自分の学級が楽しいと言っている。」

今後の取り組み

さらにきめ細かな連絡・連携 と 情報発信

生徒についての教職員と保護者の意思疎通は、学校教育を行っていく上で最も基本とな
る部分です。今まで以上に家庭との電話連絡、家庭訪問、懇談等を実施し、さらにきめ細
かな連絡・連携を図っていきます。

本校のホームページや保護者の携帯メール等を活用し、“本校の教育方針”“教育活動に
関する情報”の発信を充実させていきます。

生徒が楽しいと感じる学校づくり

本校は、「生徒が、学習活動にしっかり取り組める。」「部活動や行事等が盛んである。」「生徒会活動も活発で、生徒自ら意見を出し合い、考えたことが実現する。」学校、「生徒がイキキして、学校へ行くのが楽しい。」と言える学校を目指します。

学校が行う生徒への指導だけでなく、保護者の方々による家庭教育や地域の方々による日々の見守りがあってこそ、学校を拠点とした種々の取り組みが行えます。今まで以上の保護者・地域の方々のご協力を、よろしく願いいたします。

教職員の集計結果より

質問項目の内容は、グラフ集計をご参照ください。

この3年間、良い方向に進んでいる質問項目

- * 学習指導等に関して : 8・9・10
- * 特別活動等に関して : 24・25・26
- * 生徒指導に関して : 12・13
- * 組織運営に関して : 31
- * 管理職に関して : 28・29
- * 研修等に関して : 42
- * 安全管理に関して : 38
- * 校種間連携に関して : 46

この3年間で振り返り、改善・改革が必要な質問項目

- * 学習指導等に関して : 3・6
- * 学級経営に関して : 18
- * 危機管理に関して : 36

今後の取り組み

授業改善 と 校内研修

教員が自主的に生徒に対して授業評価を実施し、授業改善を図ります。また、教科あるいは全校をあげて、生徒一人ひとりに基礎学力を定着させる取り組みを今後も検討し、継続的に実践していきます。

教員の“授業力”アップを目指します。例えば、校内研修の1つとして、教職経験・教科を越えてお互いの授業公開（見せ合う）期間を年間教育計画に盛り込んで実践する等の方策を検討して行っていきます。

生徒指導

学校では、日々様々な生徒指導上の問題が生起し、それらに対して迅速に、かつ適切に対応していかなければなりません。後手の生徒指導にならないように、全ての教職員で組織的に、問題行動防止のための早期対応・早期指導を行っていきます。

挨拶 と 清掃活動

今後も、教職員の方から生徒に挨拶等の声かけを頻繁に行っていきます。全ての生徒がしっかり挨拶ができるという状態を目指します。

清掃活動については、教職員と生徒と一緒に日々の清掃を行い、教職員が生徒に清掃の仕方等を教えることで、生徒が自主的に清掃活動を行える状態を目指します。

来年度に向けての3大目標

- 1．授業規律をしっかり生徒に身につけさせる（授業改善の1つ）
- 2．生徒のマナー向上を目指す（特に挨拶）
- 3．部活動を活性化させる

おわりに

今年度の学校教育自己診断の結果報告は、以上の通りです。学校協議会で頂戴したご意見も含め、本校における学習指導、生徒指導、保護者・地域との連携等の課題が浮き彫りになりました。これらの課題を解決していくための方策を検討しながら、皆様から「愛され、信頼される成城高校づくり」を進めていきたいと考えています。今後とも、皆様から忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

「学校教育自己診断」のその他の質問項目、数値（％）等につきましては、グラフ集計をご参照ください。

「学校教育自己診断」の集計結果等は、断りのない無断転用を禁じます。